

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第4回こども部会				
(2) 開催日時	平成30年9月14日（金）9：30～11：30				
(3) 開催場所	本庁舎 901 会議室				
(4) 出席した委員、事務局等	委 員 <敬称略>				
	宮崎 渉	今岡 久美子	藤野 絵里子	志村 陽子	谷村 淳子
	福田 功志	宮嶋 祐紀子	吉田 紀代美	小池 優子	島村 勝
	stack 洋子	小野 英次郎	大岩 香代子	馬場 衣久美	野澤 景子
	区職員				
	本多 あゆみ	新屋 敬子	秋山 亮	大島 涼	田島 吉延
	事務局：小林 善紀、滝本 裕弥				
欠席者：石川 智春、佐藤 渉、小鳥 彰子、関 香穂利					
(5) 内容・要旨	<p>1 部会長挨拶</p> <p>2 連絡・報告事項</p> <p>(1) 各委員からの情報提供</p> <p>① 合同部会の報告</p> <p>9月4日に合同部会を実施し、事務局含め76名の参加があった。時間が足りず、議論がもう少し進めば良かったという意見や、色々な立場の人が参加しており、ネットワークが広がったという意見などがあった。</p> <p>② 就労支援部会との合同部会について</p> <p>10月22日の就労支援部会にて、こども部会との合同部会を実施する予定。7月に就労支援部会の部会長と打ち合わせを行い、切れ目のない支援の実現に向けた機会となることを目標に実施する方向となった。詳細は就労支援部会で検討し、後日周知がある予定。ぜひ多くの委員に参加していただきたい。</p> <p>③ おおたTSネットより</p> <p>9月29日に「児童虐待から考える」ということをテーマに講演会を行なう。自身の所属している機関・事業所でも広く周知してください。</p> <p>④ 児童虐待について</p> <p>虐待に関する新聞記事を紹介、親権停止という話題についても触れられている。また、被虐待者の実体験の記事も掲載されている。</p> <p>⑤ 防災部会より</p> <p>10月29日に防災部会主催で防災に関するワークショップを行う。自立支援協議会委員とオブザーバーを対象とした公開学習会となる。</p> <p>9月24日に区の総合防災訓練である「羽田防災フェア」が萩中公</p>				

園で実施予定。防災部会もブースを出す予定。その他、起震車やVR災害体験車を使った防災体験もできる。

⑥ 相談支援従事者現任研修の報告

9月10日に大田区の相談支援従事者現任研修にて、自立支援協議会に関する講義の時間があった。部会長から、こども部会の活動報告として、発達支援マップを作成していることなどの情報提供を行った。

⑦ 学務課より

平成31年度より区内の特別支援学級（知的固定学級）が、小学校としては既存の13校から14校（新設校：矢口西小学校）に、中学校としては既存の8校から9校（新設校：矢口中学校）に増えることになった。

また特別支援教室については、現在すべての区立小学校に設置されている。平成33年度にはすべての中学校に特別支援教室を設置する予定となっている。平成31年度はモデル校での実施を予定し、拠点校1校を中心に近隣6校を巡回する特別支援教室を行うことになった。

⑧ 城南特別支援学校

9月15日の14～16時、城南特別支援学校の体育館にて、こども祭りを開催する。多くの方に参加していただきたい。

(2) 事務局からの連絡事項

① 運営会議の報告

8月21日に行った運営会議にて、今年度の第2回の本会については、中間報告を無くし、検討・意見交換の時間を多く確保したいということを事務局より提案し、承認された。各部会からの報告や区からの情報提供の時間もある程度の時間確保できるとよいという意見もあった。

② 高次脳機能障がいに関する講演会

10月10日、障がい者総合サポートセンターにて、高次脳機能障がいに関する講演会を行う。宮崎部会長が支援事例報告者として登壇する予定。昨年度も今年度と同じ講演者で講演会を行っており、今年度は、家族支援という視点も含めて実施できるよう準備を進めている。

③ 医療的ケア児・者支援関係機関会議の報告

区が今年度、初めて設置した会議となる。9月5日に第1回の会議が開催され、医療的ケア児の受入れを行う区立保育園を整備しているという報告などがあった。概ね年度で2回程度開催していく予定となっている。

### 3 本日の検討課題

#### (1) 第2回本会に向けて

① 報告事項については、今年度の検討事項やその進捗状況を簡単に報告してけると良い。

② 合同部会に参加した各委員からの感想

○保護者の立場として、こどもを支援者・相談者に「わたす」ということの想いを話してきた。

○色々な事業者・支援者とつながり、支援を充実させていきたいと思い参加した。もっと多くの方と「つながりたい」と思える機会となった。

○参加していた委員の人数が多く、最初は圧倒された。ほとんどの人が初めてお会いする方ばかりであったが、色々な意見が聞けて良かった。また地域の実情を知る事ができた。

○「つながる」という言葉を意識した時に、「つながる」上で、知らないこと知るといふことの大切さを学ぶことができた。

○これまで、こどもという視点で、就学前の段階では学校に「つなぐ」ことを、小学部・中学部・高等部ではそれぞれの段階での「つなぐ」ことを考えることが多かった。もちろん、18歳以上のライフステージを意識してはいたが、18歳以上の方を支援している参加者の意見を聞き、より長期的な視点で考える必要があるということを感じた。

○介護保険と障がい福祉サービスとの違いを知る事ができた。

○普段は話す機会がない人と話すことが出来て良かった。今回のように立場や障がい種別の違う方たちが交流できる機会がもっと増えると良いと感じた。

○同じ保護者という立場でも、それぞれ思いが異なるということを知ることができ、考え方の世界が広がった。

○当事者・支援機関・相談機関・保護者という構成だったが、各々の立場によって、温度差があるという話になった。温度差があることが悪いということではなく、その温度差をそれぞれがどのように捉えるかということが大切という話があった。

○意思決定支援の話題が出た。意思決定支援を考えていく上で、もっと知らなければいけないこと、考えなくてはいけないことがあるということを感じた。

○保護者の立場や支援者の立場で「わたす」ということを考えた時に、「わたす」側は何を大切にしているのか、「わたされる」側はどういった情報が欲しいのか、ということ双方が意識することの大切さを感じた。わたす側もわたされる側も、丁寧に、場合によっては時間をかけて、双方向で「わたす」という行為を行っていく必要があると考えた。

○これまでの10年間の自立支援協議会活動の土台があったからこ

そ、自立支援協議会をより良いものにしていきたいという思いが形になり今回の合同部会開催につながったと思う。今後、合同部会が継続して実施できればより良いと感じた。

(2) 発達支援マップの活用に向けて

① 活用方法について

11月17日の発達支援応援フェアの際に、各ブースにて活用する予定。同時期に各委員が所属している機関でも活用し、年度末を目安にアンケートを実施する予定となった。

② 本会での報告について

発達支援応援フェアやこども部会委員の所属機関での活用については、本会にて部会長より報告をすることになった。

4 その他

(1) 10月の事例検討について

多機関連携「わたす」ということをテーマに、事例検討を予定している。ひとつの事例をきっかけに、広い視野で話せる内容になると良いと考えている。障害福祉サービス事業所や保護者だけが分かる内容の事例ではなく、地域生活という広い視点で検討や情報交換、意見交換ができる事例を想定して実施する。作業部会で詳細を検討していくことになった。

(2) 11月の部会実施に向けて、アンケート結果の集計

重症心身障がい児・者の地域生活の現状や、これまでの生活を知る機会となれば良いと考えている。数名の委員がプロジェクトチームを組み、内容を検討していく予定。施設見学などもできると良い。

また、併せて11月の部会を城南特別支援学校で実施できるか、城南特別支援学校と調整をしている。

(3) 児童発達支援地域ネットワーク会議との合同勉強会について

知りたい内容や聞いてみたい講師がいたら、事務局を通して、意見を集約することになった。

(4) 防災部会から児童発達支援地域ネットワーク会議へお願い

ネットワーク会議を活用して、放課後等デイサービスの事業者向けに、防災に関するアンケートを依頼したいと考えている。12月に開催予定のネットワーク会議とこども部会との合同勉強会にて配布する。

ネットワーク会議の中でも、防災・リスクマネジメントに関して検討していくという議題が上がっていたため、アンケートには協力していく。

5 次回日程

平成30年10月5日（金） 9時30分～11時30分

本庁舎 901 会議室